

## 平成 25 年度 予算が承認されました。

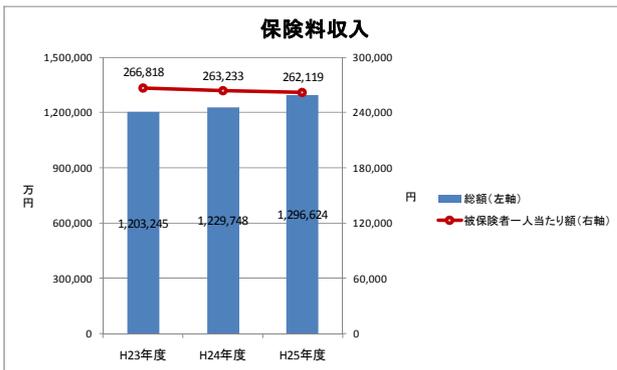
平成 25 年 2 月 21 日にリクルート健康保険組合の「組合会」が開催されました。

その中で平成 25 年度予算が審議・承認されました。

健康保険組合を取り巻く環境は、医療費の上昇や高齢者医療を支える納付金の増加など、引き続き厳しい状況が続いておりますが、当組合においては平成 25 年度について、24 年度と同じ保険料率(事業主負担、被保険者負担ともに変更なし)で運営させていただくこととなりました。

今後も みなさまの健康と安心を安定的にサポートできるようにとめてまいりますので一層のご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

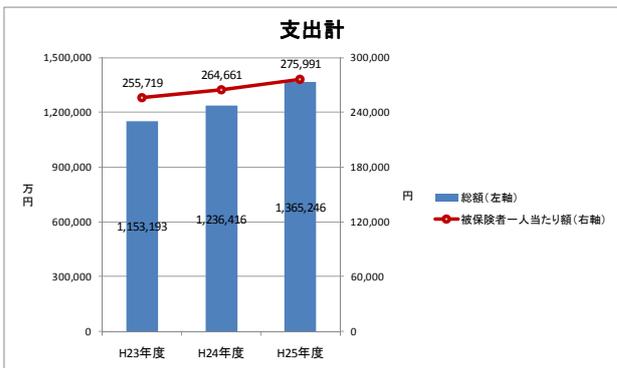
## 収入状況



平成 25 年度の保険料収入は 129.6 億円の予算となっています。

一人当たりの保険料収入は 1,114 円の減少となりますが、被保険者数の増加により、保険料収入全体は 24 年度より 6.6 億円増加する予算となっています。

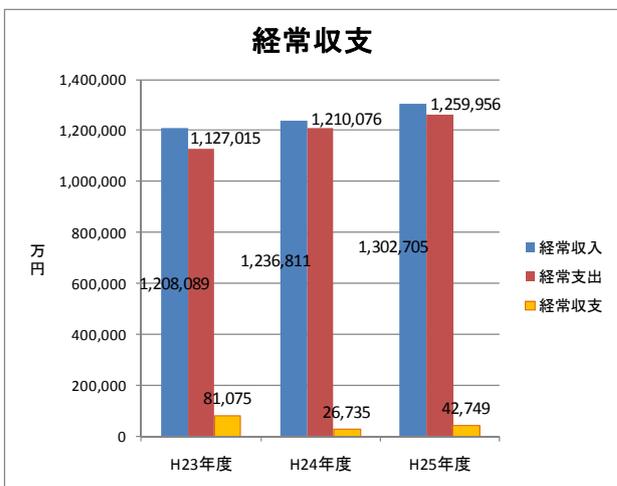
## 支出状況



一方、支出は総額、一人当たりとも増加を見込んでいます。

主な要因は「保険給付費」が増加したことによります。これらの状況については次ページにてご説明いたします。

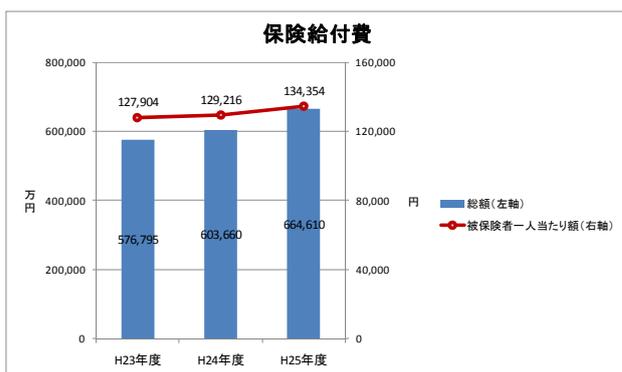
## 収支状況



平成 23 年度に保険料率の改定を行い、23 年度は経常収支が黒字となりましたが、24 年度も黒字を見込んでおります。

また平成 25 年度予算においても、経常収支では黒字の予算となっております。しかし、一人当たり医療費の増加や高齢者医療費を支える納付金の増加など 25 年度以降も支出の増加傾向が続くことが見込まれており、当健保の財政も予断を許さない状況です。

## 保険給付費(皆さんが保険証を使ったり、現金給付を受けるための費用)

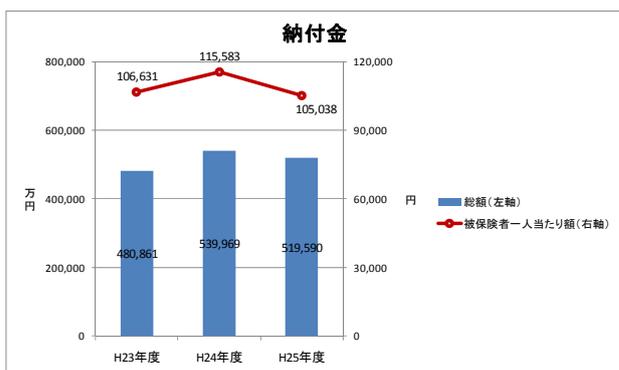


保険給付費は24年度から10.1%増加する予算としています。

一人当たりの保険給付費は毎年伸び続けており、この傾向が25年度も続くと見込んでいること、および被保険者数の増加が見込まれるためです。

薬については、価格の安いジェネリック医薬品が用意されている場合もありますので、薬局等ではその旨お伝えいただきますと保険給付費の削減につながりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

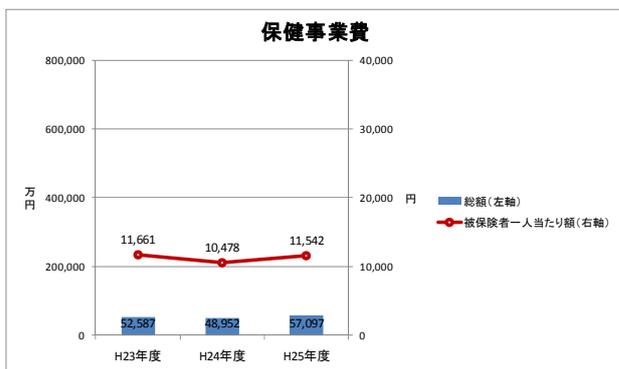
## 納付金(主に高齢者の医療を支えるために拠出する費用)



高齢者の医療を支えるための納付金ですが、25年度は24年度から減額の予算となりました。

高齢者医療制度については現在議論されているところですが、健保財政に与える影響は年々大きくなってきております。

## 保健事業費(人間ドックなどの健診や健康相談、健康増進などのための費用)



リクルート健保では人間ドック、ファミリー健診を中心とした保健事業を行ってきており、25年度は24年度から0.8億円増加する予算を計上しております。

被保険者数の増加に伴い、40歳以上の人数も増加しており、人間ドックや特定健診・特定保健指導等の予算を増額しております。

引き続き皆様の健康増進のために保健事業運営を行ってまいりたいと思っております。